

## 『がんの微小シグナルを捉える』

## 成果(技術)の概要



細胞分裂時の染色体部位にあるタンパク質を識別する試薬 Anti-CENP-Cほか8種類



ProNT EIAキット(試作品)

## ①がん化を促進するセントロメア(※1)機能異常を解析する実験系の開発と応用

染色体を構成するタンパク質の解析を行い、新規のセントロメア構成因子の同定(※2)、並びにセントロメア局在を示すタンパク質(3-5個程度)の同定に成功した。また、この成果を元に細胞分裂時の染色体部位にある各種タンパク質を識別する試薬を商品化した。

※1セントロメア……染色体の長腕と短腕が交差する部位  
 ※2同定……目的物質が何であるかを明らかにすること

## ②血液検査によるがん早期発見技術の開発

肺小細胞がんの新たな高感度血液検査システムの開発において、ProNTというタンパク性物質を腫瘍マーカー(※3)候補として選定し、現在その臨床試験を実施中である。有用性の検証後、ProNT測定キットとしての製品化が考えられている。

※3腫瘍マーカー……腫瘍細胞で特異的に産生され、尿や血液中で検出される物質。その定量や検出が、がんの診断の補助や臨床経過の判定に利用される。

## 地域(エリア)概要

地域(エリア)名	富士山麓地域	
実施事業名	地域イノベーション戦略支援プログラム(グローバル型(グローバル拠点育成))	
実施期間	平成22年8月~平成25年3月(予定)	
実施機関	学…東京農工大学、国立遺伝学研究所 他 官…静岡県立静岡がんセンター 他	
(太字は核となる研究機関)		
中核機関(連絡先)	財団法人 しずおか産業創造機構(ファルマバレーセンター) 〒411-8777 静岡県駿東郡長泉町下長窪1007番地 TEL:055-980-6333 FAX:055-980-6320 e-mail:mail@fuji-pvc.jp	

## 製品化実績等

細胞分裂時の染色体部位にあるタンパク質を識別する試薬 Anti-CENP-Cほか8種類

## 今後の市場規模(見込み)等

ProNTの腫瘍マーカーは、H22の市場調査では、血液検査で前立腺がんマーカー(PSA)と同等の検査精度を確保できれば、肺がん検査市場は世界的にもかなり拡大すると予測されている。